



5月28日、シズウェル102号室で開催された学習会

ミャンマー問題 学習会を開催

5月28日（土曜日）、静岡市平和委員会の主催による「ミャンマー問題学習会」が、シズウェルで開催されました。

ミャンマーでの2021年2月1日のクーデターから14カ月あまり、民主派の戦いは軍政側の弾圧が厳しいなかで続いています。しかし、今、ロシアのウクライナ侵略のニュースの裏に隠れて報道されること

が少なくなりました。そこで、静岡ユース代表（Shizu Youth For Myanmar）のキン・ヤダナソーさんから「ミャンマーで今何が起きているか」と題して、お話を聞く場を設けました。

当日は20余名の方が参加し、キンさんからクーデターと反政府運動の現状や国内の状況などを聞きまし

しずおか平和の風

No.86
2022年6月25日
発行
静岡市
平和委員会
静岡市葵区鷹匠
1-5-8
TEL 253-1854
FAX 252-0785
メール
peacecity1854@gmail.com
ホームページ
https://shizuoka-shi-heiwa-iinkai.jimdofree.com



QRコードはホームページにリンクします。

ただきました。（下記画像は、ミャンマーカンパの領収書です。）
日本政府がもっと真剣な制裁を科すること、ASEANがもっと圧力をくわえる必要があるのではなどの意見がありました。
ミャンマーの民主派の戦いにもっと関心を持ち、支援や連帯の輪を広げる試みを強めていきましょう、と確認しました。



6月5日の日本平和委員会の大会で静岡市平和委員会の機関紙「しずおか平和の風」が奨励賞を受賞しました。2年連続です。

つむじ風

ウクライナとロシア

ロシアのウラルで生まれたチャイコフスキーの有名な作品に「アンダンテ・カンタービレ」（弦楽四重奏曲第1番第2楽章）がある。これを聴いた文豪トルストイは、感動のあまり涙を流したという。この楽章の冒頭部分は、チャイコフスキーがウクライナに滞在している時耳にした旋律だそうだ。ウクライナの土の香りを含んだメロディーが、チャイコフスキーやトルストイにロシアの風土と重なるものを想起させ、心を動かしたのだろう。そして、世界中が感動した。

「鶴」という歌曲がある。ダゲスタンの詩人ガムザトフの詩がロシア語に訳された。前線で死んだ兵士が鶴となって故郷に帰っていくという悲しい歌だ。ロシアは第2次世界大戦のナチスとの戦いで多くの犠牲者を出した。この歌はまたたく間にロシアに広がったが、作曲者はキエフ（キーウ）の作曲家フレンケルである。

ウクライナとロシアは、近親性が強い兄弟のような民族の国家として知られているが、このように音楽でも深い関りを持っている。でありながら、今度のロシアの侵略によって互いに争い、殺し合うことになってしまった。

国家と民族。この二つがいつも戦争の種になっている。同じことを感じ、親しくできる個人が、国家と民族というレベルになると争いを続けている。今回悪いのはロシアだが、根底には悩ましい問題が横たわっている。

合戸 政治

相手の言葉に翻訳して話す ～吉澤 はつ江～



▽ロシアのウクライナ侵攻が始まってから、もう4か月がたとうとしている。3、4月は街頭に立つて宣伝している

と、関心を示す人が多く、ウクライナカンパもたくさん集まった。しかし、日を追うにつれて関心が薄れるどころか、憲法を守るう、核兵器をなくそうと署名活動をしていると「何今頃言ってるんだ！憲法を変えて、核兵器持たないとダメなんだよ、馬鹿野郎！」等の言葉を投げつけられる事が増えてきた。今までもこのような考えの人がいたけれど、こんな言われ方はほとんどなかった。マスコミが危機感をおおきく、軍備増強、核共有の必要などのシャワーを浴びせてきたため、「憲法変えろ、核も必要！」の考えを持っていた人が居丈高になってきたように思う。こわいことだ。▽署名を集める時、知人や友人に伝える時、どう話したらわかってもらえるか、この頃真剣に考えている。▽若い人に人気のある絵本作家ヨシタケシンスケさんは「人は正論を言うのは好きだけど、言われるのは嫌いなんです。だから、相手の言葉に翻訳する準備をして言う事が大事」だと書いている。▽世界が不安定さを増している今だからこそ、平和を守る事の大切さをどう伝えたいか迷いながら誠実に話していかなくてはならないと思う。街頭では時間が限られているからとても難しいけれど、相手の気持ちを考えながら翻訳しながら伝えていくしかないんじゃないかと考えている。

2022年平和行進 静岡市へ



宣伝がおこなわれました。スタンディング・宣伝では各参

5月6日東京・夢の島を出発した2022年平和行進は、5月16日神奈川県から引き継がれ、静岡県内各地でスタンディングなど市民に核兵器廃絶を訴えながら5月31日愛知県に引き渡しました。

静岡市では5月24日(火)午後4時から1時間、静岡市役所前の青葉公園で約50名が参加しスタンディング

以前は、核兵器は使えない兵器だが、敵国から攻撃されるのを防ぐ抑止力にはなるというのが各国共通の認識でした。ところが、ロシアのプーチン大統領は自国が核兵器で攻撃されなくても、先制的に使うことがあることをちらつかせました。核戦争という危機が現実のものとなるかもしれないという恐怖が世界中に広がりました。

そんな中でこの6月、

ロシアによるウクライナ侵略が始まって、核兵器をめぐる様相は一変しました。以前は、核兵器は使えない兵器だが、敵国から攻撃されるのを防ぐ抑止力にはなるというのが各国共通の認識でした。ところが、ロシアのプーチン大統領は自国が核兵器で攻撃されなくても、先制的に使うことがあることをちらつかせました。核戦争という危機が現実のものとなるかもしれないという恐怖が世界中に広がりました。

そんな中でこの6月、

加団体からの発言や歌ごえの仲間による平和の歌がうたわれ、呉服町通りを歩く人々に核兵器廃絶を訴えました。静岡市平和委員会からは合戸政治さんがロシアのウクライナ侵略と国内ではそれに乘じて敵基地攻撃能力保持など大軍拡、「核共有」の懸念などを訴えました。立ち止まって聞いている若者の姿が目立ちました。

行進は原水爆禁止2022年世界大会が開かれる8月4日まで広島を目指し進んでいきます。

加団体からの発言や歌ごえの仲間による平和の歌がうたわれ、呉服町通りを歩く人々に核兵器廃絶を訴えました。静岡市平和委員会からは合戸政治さんがロシアのウクライナ侵略と国内ではそれに乘じて敵基地攻撃能力保持など大軍拡、「核共有」の懸念などを訴えました。立ち止まって聞いている若者の姿が目立ちました。

行進は原水爆禁止2022年世界大会が開かれる8月4日まで広島を目指し進んでいきます。



平和行進 青葉公園でのスタンディング(5月24日)

今年、この状況を受け止めて開催されます。何としても核戦争を止めましょう。世界大会成功に向けて、核兵器禁止条約参加署名を県内30万筆の目標(現在59064筆)に向けて積み上げましょう。

オーストリアのウィーンで核兵器禁止条約締約国会議が開かれた国は、62か国(6月16日現在)と増えています。そして、批准していない国でも、ドイツやノルウェー、スウェーデンなどはオプザーバー参加することが決まっています。しかし、唯一の戦争被爆国日本は、この条約に署名・批准はおろか、オプザーバー参加さえしようとしません。

オーストリアのウィーンで核兵器禁止条約締約国会議が開かれた国は、62か国(6月16日現在)と増えています。そして、批准していない国でも、ドイツやノルウェー、スウェーデンなどはオプザーバー参加することが決まっています。しかし、唯一の戦争被爆国日本は、この条約に署名・批准はおろか、オプザーバー参加さえしようとしません。

お知らせ

「平和の風」見学ツアー

平和の動き 6~7月

6月
29日(水) 9の日行動 青葉前 12:00
7月
7日(木) 核禁止条約サイン署名 東急前 12:00
9日(土) 9の日行動 青葉前 12:00
10日(日) 参院選投票日
19日(火) オール静岡アクション 青葉前 17:30
23日(土) 核禁参加署名推進学習会 アザレア
29日(金) 9の日行動 青葉前 12:00

目的地 **藤枝市滝ノ谷・内谷**

日時 **7月16日(土曜日)**

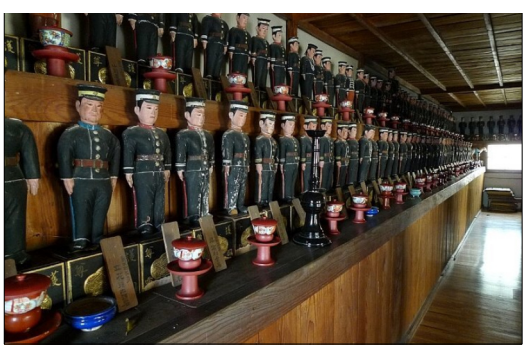
集合時間 **9時45分**

集合場所 **静岡駅北口送迎車待合場所**

申込先 **054-261-9645 (三輪)**

申込締切 **7月14日**

参加費 **車に分乗、費用は均等割**



上 藤枝市滝ノ谷にある「9条の碑」
左 日露戦争に出征して戦死された英霊を供養するために造られた兵隊の木像(岡部の常昌院)